

## 審議会会議録

会議名称	伊達市特別職報酬等審議会【第1回】		
議 題	議員報酬及び監査委員報酬について		
開催日時	令和元年12月17日（火） 13時30分 ～ 15時00分		
場 所	伊達市役所 2階会議室B		
出席委員	出席委員 6名、事務局 3名		
	所管部課名	総務部職員法制課	
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	傍聴者人数	なし
	<input type="checkbox"/> 非公開	非公開の理由	
<p><b>【審議会の概要】</b></p> <p>1. 開 会（事務局：総務部長）</p> <p>2. 委嘱状交付（机上交付）</p> <p>3. 市長挨拶 市議会は行政のチェック機能であり、人材確保ができなければ役割を果たせない。現在は議員年金も廃止され、兼職も難しい状況。処遇面を改善し人材確保に繋げたい考え。監査委員も同様に現在の処遇では人材確保が難しい状況。</p> <p>4. 自己紹介</p> <p>5. 会長・職務代理者選任 会長に菅委員、職務代理者に馬場委員を選任。</p> <p>6. 諮 問 (以降、会長による議事進行)</p> <p>7. 議 事  (資料に基づき事務局から説明) 道内各市の報酬一覧を資料提供。議員は全国的になり手不足が問題化。当市も前々回が無投票となった。要因は様々だが、その一因である報酬額について審議願う。 監査委員は非常勤だが、地方自治法改正により業務量が増え、常勤並みの勤務となっている。市再任用職員と比較しても低い処遇では人材確保が難しい現状である。</p> <p><b>【審議内容】</b></p> <p><b>【委 員】</b> 前回の開催から11年が経過。情勢も変化しており、もう少し短いスパンで検討するべき。議員報酬の水準がわからず、配布した資料以外に何か情報はないか。</p>			

- 【事務局】今回は用意がない。今回の審議内容により条件設定した資料を次回に向け作成予定。
- 【委員】賞与は支給されているか。
- 【事務局】月額報酬の4.5月分程度を支給。年収で540万円程度となる。
- 【会長】適正額を判断するのは難しい。報酬を上げるべきかについても意見されたい。
- 【委員】議員の役割は会社での監査役。正職員と同等でも良いのでは。
- 【委員】監査委員は常勤並みの業務実態、議員も年金廃止を考えるとあげても良い。
- 【委員】昔は兼職議員が多かった。会社員なら扶養手当などが支給されるが。
- 【事務局】詳細は把握していないが一定程度は専門の印象。月額報酬と期末手当の他に政務調査費が支給されるが、これは生活費とはならない。
- 【委員】落選するリスクを考えれば、なり手不足も理解できる。扶養手当や個人年金の掛金分を上乗せしては。
- 【委員】増額には賛成。最近報酬額を改定した自治体を参考にしては。
- 【会長】議員の役割も変化し、活動成果もわかりづらくなった。報酬を上げる条件として定数見直しや資質向上策を付帯しては。監査委員も引き上げの必要性を感じるが、理由の整理も必要。
- 【委員】議員には、市のためにもっと頑張ってもらいたい。
- 【委員】生活基盤を安定させることがスタート。活動成果は市民が選挙で判断すれば良い。
- 【会長】議員報酬のみで生活できれば、人材確保できるか。
- 【委員】立候補者は増えるのでは。市民に対して報酬増額に見合った成果を示せるかが課題。
- 【委員】議員と監査委員は分けて検討すべき。年金制度も縮小されており、報酬額を見直さなければ監査委員の人材確保が難しくなる。議員報酬については、高いか安いかわよりも活動内容を広く知ってもらう努力も必要では。
- 【会長】議員定数を検討する動きもあるようだが。
- 【委員】活動内容が選挙結果に表れるような競争が生じる状態が望ましい。
- 【委員】安定した生活基盤を整備した上で活動してもらうことが必要。
- 【委員】定数の妥当性はわからないが、活動費などの実態も考慮しなければ。
- 【会長】答申にあたっては付帯意見を付けることも検討したい。事務局には資料作成を依頼する。

## 8. 閉 会